

エマージェンシーブレーキアシスト“Front Assist”

エマージェンシーブレーキアシスト“Front Assist”は、衝突事故の回避を支援します。

警告

エマージェンシーブレーキアシスト“Front Assist”には技術的な限界があります。適切なブレーキ操作の責任は常に運転者にあります。エマージェンシーブレーキアシスト“Front Assist”の警告を受けた場合、交通状況に応じてすぐにブレーキペダルで車両にブレーキをかけるか、障害物を避けてください。

- 車速および車間距離は必ず、天候状況、道路状況、交通状況に合わせてください。
- エマージェンシーブレーキアシスト“Front Assist”のみで事故や重傷を防ぐことはできません。
- 特定の走行条件、複雑な走行条件等では不要な警告が出されたり、意図しないブレーキ作動が行われることがあります（例えば中央分離帯や金属レールの付近、曲がりくねった幹線道路等）。
- エマージェンシーブレーキアシスト“Front Assist”は、機能が低下している場合、不要な警告が出されたり、不要なブレーキ作動が行われることがあります（レーダーセンサーの汚れ、はずれ等）。
- エマージェンシーブレーキアシスト“Front Assist”は、交差車両、同じ走行レーンの対向車両には反応しません。
- 運転者は常に自分で車両を操作できる状態である必要があります。

レーンキープアシストシステム“Lane Assist”

レーンキープアシストシステム“Lane Assist”は、システム限界内で走行レーンを維持できるように運転者を支援します。

警告

“Lane Assist”の自動制御技術は物理的に規定された限界を超えることはできず、システムの制約の中でのみ作動します。“Lane Assist”を不用意に使用すると、事故に至り、重傷を負う恐れがあります。システムを過信せず、十分な注意を払ってください。このシステムは運転者のステアリング操作に代わるものではありません。

- 必ず、視界や天候、道路や交通状況に合った車速および車間距離で走行してください。
- 常にステアリングホイールに手を置き、いつでもステアリングを操作できる状態にしてください。走行レーンを維持する責任は常に運転者にあります。
- ステアリングによって、想定外のシステムの介入をすぐに“OFF”にします。
- コンビネーションメーターのディスプレイの表示を確認し、対応可能な交通状況であれば、要求に応じて行動してください。
- 常に車両の周囲を慎重に確認し、走行してください。
- カメラレンズの視野範囲に汚れや損傷がある、または覆われた状態であると、“Lane Assist”の作動に影響を及ぼす恐れがあります。

ハイビームアシスト / 自動ハイビームアシスト“ダイナミックライトアシスト”

- ・ハイビームアシストは、対向車や先行車が検知されると、眩惑防止のために自動的にハイビームを消灯させます。
- ・自動ハイビームアシスト“ダイナミックライトアシスト”は、道路およびその周囲を最大限に照らします。

警告

ハイビームアシストにより快適性が高まっても、運転には注意を払ってください。システムを過信せず、十分な注意を払ってください。

- 常にご自身で走行用ライトを確認し、周囲の光、視界、交通状況に合わせて調整してください。
- ハイビームアシストはあらゆる走行状況を正しく検知できるとは限らず、特定の状況では制限されることがあります。
- カメラのレンズ範囲が汚れていたり、物で覆われていたり、あるいは傷付いている場合、ハイビームアシストの機能が損なわれることがあります。これは車両の照明装置に補助ライト類を取り付けた場合も同様です。